

統合20周年記念誌

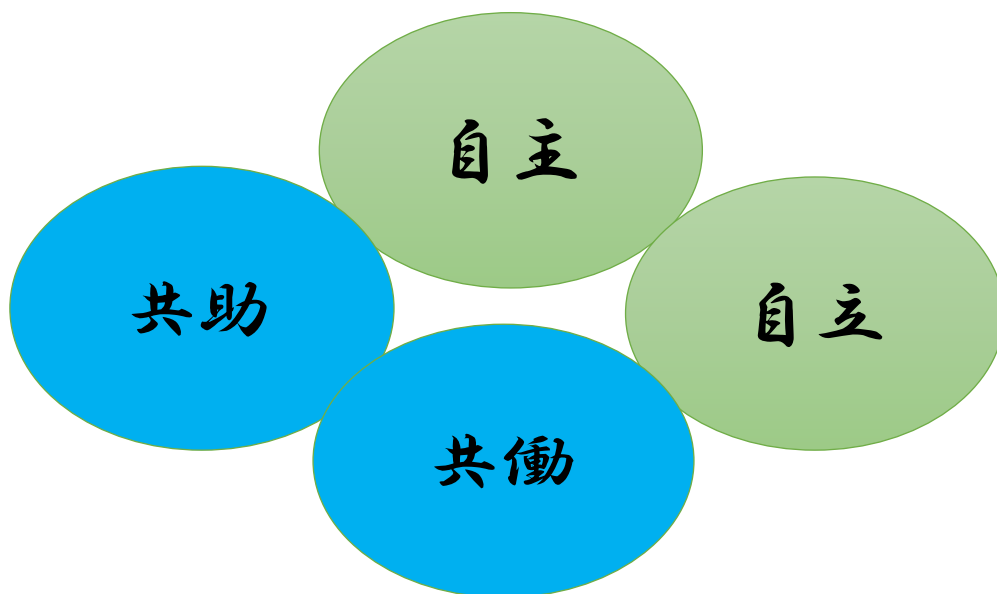
飛翔



公益社団法人

下野市シルバー人材センター

シルバー人材センターの理念



シルバー人材センターの基本理念は、地域に住む、原則60歳以上の高齢者が自主的に集まり、自らが主体となって運営していくとともに、互いに助け合いながら協調性をもって働くことで、豊かな高齢者の生活維持と社会参加による生きがいの充実を図ろうとするものです。

「飛翔(ひしょう)」という本記念誌の名称は、複数あった候補の中から役員(理事・監事)による投票で決定しました。

「飛翔」とは、鳥や昆虫が空高く飛び回ること、または空中を飛んで移動することを意味する言葉です。単に飛ぶだけでなく、羽ばたきながら、あるいは優雅に高く空を翔(か)ける様子、また、力強く、より高く舞い上がるような空の旅を指すこともあります。比喩的に夢や目標に向かって大きく成長・飛躍するというポジティブな意味でも使われ、困難を乗り越えて新しい舞台へ向かう勇気や成長の象徴としての言葉とされています。

「健康で働く意欲」を持った私たちは、まだまだ新たなステージで成長と前進を志します。共に空高く飛び立ちましょう。

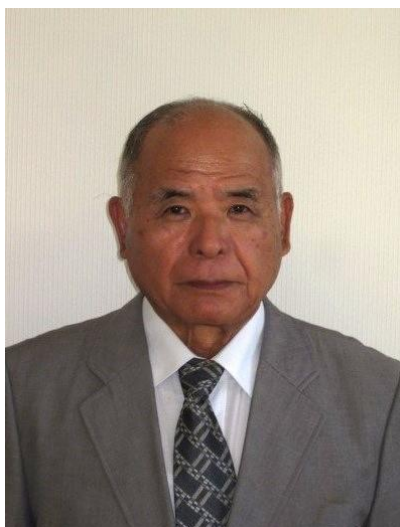


目 次

表紙 「南河内地区・石橋地区・国分寺地区 各名所の昼と夜の風景」

1	ご挨拶	理事長	五月女 洪	・・・	1
2	ご祝辞	下野市長	坂村 哲也 様	・・・	2
		下野市議会議長	大島 昌弘 様	・・・	3
		栃木県議会議員	高山 和典 様	・・・	4
		公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会			
		理事長	小川 俊彦 様	・・・	5
3	利用者からのメッセージ				
		東綱橋梁 株式会社			
		(管理本部)総務部長	吉田 良一 様	・・・	6
		医療法人三秀会 中央クリニック			
		理事長	本山 光博 様	・・・	7
		株式会社 誠和			
		代表取締役	竹内 康博 様	・・・	8
4	会員を代表して				
		石田 節男	(安全・適正就業委員会委員長)	・・・	9
		横島 清	(入会促進事業 会員を増やし隊隊長)	・・・	9
		羽石 壽夫	(ボランティア・健康増進事業リーダー)	10	
5	20年のあゆみ			・・・	11
6	スナップ写真集(思い出の活動風景)			・・・	19
7	標語一覧			・・・	25
8	グラフで見る変遷			・・・	26
9	歴代役職員紹介			・・・	29
10	編集後記			・・・	32

背表紙 「地域貢献 清掃ボランティア活動の様子(天平の丘公園内)」



統合20周年を迎えて

公益社団法人

下野市シルバー人材センター

理事長 五月女 洪

平成18年1月下野市が誕生し、同年4月にそれぞれのシルバー人材センターが統合され、下野市シルバー人材センターとし活動して、ここに20周年を迎えることができました。これもひとえに関係機関及び市民の皆様方のご理解と歴代役職員並びに会員の方々の多大なる御尽力のたまものと深く感謝申し上げます。また、市内事業所の皆様方には、日頃より当センターの事業に対する深いご理解とご協力を頂いており、心よりお礼申し上げます。

さて、一人でも多くの高齢者の方々の生きがいの充実と健康の保持と合わせて高齢者の皆さんが長年培った豊かな経験と知識・技能を地域社会に役立てて頂く場、また、活力ある街づくりの一翼を担う場としてシルバー人材センターの意義があります。多くの方は定年後は地域のため、地域で何かできることはないかと考える方が多いかと思います。しかし、少子高齢化・産業化の進展により、定年制の延長や廃止が実施され、人手不足等が産業構造を変え、更に産業化の進展と共に進む高齢化は、これまでよりも多くの高齢者を就業の担い手とし、様々な施策が実施され、今日に至っています。

これらの期待や要望に応えるためには、センターとしても今後、会員増や会員の職業能力開発支援、就業開拓に取り組んでまいりたいと思います。「人生百年時代」と言われ、幸せな生活が送れる豊かな長寿社会を築くため、シルバー会員が連携し、より多くの仲間と元気に働きながら、自分達の活動が地域の人たちに喜ばれる魅力あるセンターになるよう尚一層努力したいと考えております。

結びに、センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」のもと、「無理せず、楽しく、安全に」を合言葉に会員各位のご健勝とご多幸を祈念申し上げご挨拶といたします。

2 ご祝辞



統合20周年を祝して

下野市長 坂村 哲也 様

下野市シルバー人材センター統合20周年、誠におめでとうございます。

皆さまにおかれましては、日頃より市政運営に深いご理解と多大なるご協力を賜っておりますこと、改めて感謝申し上げます。

さて、平成18年1月10日、旧南河内町、旧石橋町、旧国分寺町の合併により新たな希望とともに産声を上げた本市も、貴センターと同様、本年、市制施行20周年という大きな節目を迎えました。

私は、この20周年という新たな門出を本市がさらなる飛躍を遂げるための好機と捉え、本市の持つ充実した地域医療体制を最大限にいかし、この下野市を「医療福祉のまち」としてより一層発展させてまいりたい所存です。

私の目指す「医療福祉のまち」は、単に病を防ぐ身体的な健康に限らず、身体、心、生活の健康はもとより、心も健やかに、長く暮らせるまちです。

お子様から現役世代、そしてシニア世代の方々まで、誰もが生涯にわたり元気で楽しく、日々の暮らしの中に「生きがい」を見出せるまちを、市民の皆様とともに創り上げたいと考えております。

その取り組みの一つとして、現在、整備に向けた準備を進めている市役所周辺の「都市核」において、多様な人々が自然と集い、語り合える「多世代交流拠点」を形成してまいります。

この新たな拠点を核として、人と人が絆で深く結ばれ、誰もが活力と希望を持って暮らせる「医療福祉のまち 下野市」を目指してまいります。

そして、今後も本市の魅力を高めていくにあたって、豊富な経験や能力、技術を有するシニア世代の方々のご活躍は、欠かすことができない大変心強いものであります。何卒、引き続き、市政への変わらぬご支援とご協力を賜れましたら幸いです。

結びに、下野市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様の更なるご活躍、ご多幸をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



統合20周年を祝して

下野市議会議長 大島 昌弘 様

下野市シルバー人材センターが、統合20周年という輝かしい節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

平成の市町村合併を経て、旧三町のセンターが一つに集約されてから20年。この歳月は、決して平坦な道のりではなかったと推察いたします。

しかしながら、歴代の役員の方々をはじめ、会員の皆様が「自主・自立、共働・共助」の理念を胸に、たゆまぬ努力を積み重ねてこられたからこそ、今日の揺るぎない組織の姿があるものと確信しております。

市議会でも、予算や決算の審議を通じセンターの事業運営状況を拝見しておりますが、常に感銘を受けるのは、皆様の活動が単なる「就業」の枠を超え本市の地域コミュニティを維持する上で欠かせない「大きな力」となっている点です。

人口減少・少子高齢社会が進む我が国において、長年培われた豊かな経験と知識、そして卓越した技能を持つ方々が、現役世代を支え、地域の美化や公共施設の管理、さらには市民の日常生活を支える多様なサービスに尽力されている姿は、まさに「生涯現役」の範を示すものです。

特に、高齢者の意欲と能力を活かして社会に貢献し、生きがいを見出すセンターの活動は、健康寿命の延伸という観点からも極めて重要な役割を担っております。皆様が生き生きと活動されることが、そのまま下野市の活力に直結していると言っても過言ではありません。

市議会としましても、高齢者の皆様が安心して健やかに、そして誇りを持って暮らせるまちづくりは、最優先で取り組むべき課題の一つです。今後も、シルバー人材センターが、時代の変化や多様化する市民ニーズに柔軟に対応しながら、さらに発展していけるよう、適切な支援と議論を尽くしてまいります。

結びに、下野市シルバー人材センターが、この20周年を新たな出発点として、今後ますます発展されますこと、並びに会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



統合20周年にむけて

栃木県議会議員 高山 和典 様

このたび、公益社団法人下野市シルバー人材センターが統合20周年という大きな節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。五月女 洪理事長をはじめ会員の皆様、また長年にわたりセンターの活動を支えてこられた多くの関係者の皆様に、深く敬意と感謝を申し上げます。

シルバー人材センターは、高齢者の皆様がこれまで培われた知識や経験・技能を活かしながら、生き生きと社会参加を続けられる大切な場であります。働くことを通じて生きがいや健康づくりに繋がるだけでなく、地域の支え手として多くの分野で欠かせない役割を担っておられます。環境整備や施設管理・地域の見守りなど、日々の暮らしの中で皆様の活動がこの地域の安全安心や、地域を支える心強い力となっていると思います。

この20年の歩みの中では、社会環境の変化をはじめ多くの課題もあったことと思います。それでも地域に寄り添いながら活動을続け、信頼を築いてこられた皆様のご努力が、今日の発展に繋がっているのだと思います。これからも下野市にとって無くてはならない存在として、ますます活躍の場が広がっていくことを期待しております。

私も地元県議として、誰もが安心して暮らし生きがいを持って活躍できる地域づくりを目指し、皆様とともに歩んでまいりたいと思います。

結びに、下野市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と皆様のご健勝とご多幸・更なるご活躍を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



統合20周年にあたって

公益財団法人

栃木県シルバー人材センター連合会

理事長 小川 俊彦 様

公益社団法人下野市シルバー人材センター設立二十周年、誠におめでとうございます。栃木県シルバー人材センター連合会を代表し、心よりお祝い申し上げます。

貴センターは設立以来二十年の長きにわたり、地域社会に根ざした着実な運営を続けられ、高齢者の就業機会の確保と社会参加の推進に大きく貢献してこられました。その歩みは、時代の変化に柔軟に対応しながら、常に地域のニーズに応えようと努力を重ねてこられた歴史でもあります。ここに至るまでのご尽力に対し、深く敬意を表するものであります。

少子高齢化が一層進展する今日、シルバー人材センター事業の重要性はますます高まっております。豊かな経験と知識、長年培われた技能を有する会員の皆様が、それぞれの能力を存分に発揮し、地域社会を支える担い手として活躍されている姿は、多くの地域住民に安心と信頼を与えております。また、就業を通じて生きがいを見だし、健康で充実した生活を送られていることは、地域全体の活力向上にもつながっております。

これもひとえに、歴代理事長をはじめとする役員各位の卓越した指導力とご尽力、会員の皆様の誠実な取り組み、そして行政並びに関係団体の温かいご支援の賜物であります。貴センターが築いてこられた信頼と実績は、下野市における大きな財産であり、今後の発展の礎となるものであります。

これからの時代においても、安全就業を最優先に、会員相互の助け合いの精神を大切にしながら、より一層魅力ある組織として発展されますことを心よりご祈念申し上げます。そして、二十周年という記念すべき節目が、新たな挑戦と飛躍への出発点となりますことを期待し、お祝いの言葉といたします。

3 利用者からのメッセージ

統合20周年を祝して

東綱橋梁株式会社
(管理本部) 総務部長 吉田 良一 様

下野市シルバー人材センター統合20周年、誠におめでとうございます。

当社は統合以前よりお付き合いをさせていただいており、これまでたくさんの会員の皆様にお力添えをいただいてまいりました。

当工場における業務委託内容は、事務所および工場内の清掃管理、食堂での昼食準備が中心であります。特に清掃管理においては、日々の清掃作業に加え、当社従業員では気付かなかった視点からのご提言により改善された箇所が幾つもあります。

会員の皆様に対する世間の見方は、第一線を退いた後のセカンドキャリアという位置付けで捉えられがちですが、その仕事ぶりと労働意欲は現役さながらであり、目を見張るものがあり、心より敬意を表する次第です。

このような貴重な人材が貴センターには数多く登録されており、ある意味で地域の労働市場を支える重要な担い手となっている側面を、より多くの企業に認識していただきたいと存じます。

結びに、下野市シルバー人材センター様の今後ますますのご発展と、会員の皆様が健康で楽しく、末永くご活躍されますことを心からお祈り申し上げます。



統合20周年を祝して

医療法人三秀会 中央クリニック
理事長 本山 光博 様

下野市シルバー人材センター様が統合20周年という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

当クリニックでは、下野市シルバー人材センター様に長年にわたりお世話になっております。現在、会員の方に屋内外維持管理業務をご担当いただき、院内外の環境整備を力強く支えていただいております。常に責任感を持ち、細やかな気配りをもって業務にあたってくださいの姿勢は、私ども職員の大きな支えとなっております。また、日々元気ハツラツと誠実に取り組まれるお姿は、周囲にも良い影響を与えてくださっています。おかげさまで、患者様にとって安心で快適な医療環境を維持することができております。誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

下野市シルバー人材センター様のこれまでの長年にわたるご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後ますますのご発展と、地域社会への一層のご貢献を心より祈念申し上げます。



統合 20 周年を祝して

株式会社 誠和

代表取締役 竹内 康博 様

下野市シルバーセンター統合 20 周年心よりお慶び申し上げます。

弊社は、施設園芸業界の内部設備メーカーでありつつ、自社でトマトなどの野菜の栽培技術を研鑽することで、設備と栽培技術の両方の側面から、儲かる農業を提案し続ける企業です。

貴センターからご紹介いただいた会員様には、主に弊社の栽培に関わる業務でご活躍いただいております。施設園芸では、ハウス温室内が高温多湿の状況になりやすいのですが、その中でも、真面目に、親しみやすくお仕事をしていただき、大変感謝しております。

弊社は、設立 55 年を迎え、これからも地域の方々と共に歩み続けられたらこれほどうれしいことはありません。今後も、貴センター並びに会員みなさまにご助力いただきながら、当社の理念である「魅力があり、夢が描ける、農業社会創り」を共に達成していけたらと考えております。

最後に、下野市シルバーセンターのますますのご発展と、会員みなさまのご健康とご活躍を心からご祈念申し上げます。



4 会員を代表して

安全・適正就業委員会 委員長 石田 節男

統合20周年おめでとうございます。

私は、平成28年に理事を拝命と同時に安全適正就業委員会委員として、10年間活動してまいりました。

振り返りますと、高齢者によるアクセルとブレーキの踏み違いによる自動車事故が多発し、当センターにおいても送迎業務の運転の適性年齢を検討せざるを得なくなったり、新型コロナウイルスが猛威を振るった期間は、交通安全講習会を中止したり、安全標語の審査会を中止にし、電話やファックスで投票するなど、多くの苦労がありました。

今後も止めどもなく続くであろう熱中症対策も、労働安全衛生法で熱中症対策が義務化され、当委員会においても様々な検討がなされ、会報「ねんりん」やSMS等で注意喚起をして来たところであります。

これからも、「安全はすべてに優先する」「安全なくして就業なし」を常に念頭におき、会員の皆様、センターが一丸となって、会員の皆様が元気に楽しく働ける環境づくりと安全就業の推進に取り組んでいけたらと思います。

入会促進事業 会員を増やし隊 隊長 横島 清

「センターの未来を思う」

入会促進事業では、会員の皆様の「一会員一声運動」により、新会員の開拓に努力していただいていたことに感謝致します。また、定期的入会説明会等の活動を地道に続けた結果、お陰様でここ数年、会員数の微増が続いています。会員の増加は、組織の活性化に繋がります。しかし、当センターの女性会員数は男性会員数のほぼ半分程度にとどまっています。女性会員の増加は、会の活性化に欠かせない要素であります。その為、前隊長の時から女性会員の仲間づくりに向けた検討を重ね、現在、その開始に向け準備が整いつつあるところです。活動を通して、女性会員の繋がりが密になり、新規会員の獲得に結び付くことを期待しています。そして、当然のことながら、入会を決めるにはその人にとって魅力ある仕事があることが肝要かと思います。会員のニーズにこたえる多様な職種が開拓できると良いと考えます。

結びに、明るい展望のもと、下野市シルバー人材センターが益々発展することを願っています。

ボランティア・健康増進事業 リーダー 羽石 壽夫

「第二の人生。人との出会い。」

3センターが統合して20年。現在の会員の方も20年前はまだ現役だった方が多いと思います。老後のこともシルバー人材センターのこともあまり考えたこともなかったと思います。でも今はご縁があり、一緒に仕事したり気の合う仲間同志運動したり趣味に興じたり、シルバーに入っていなければ経験できなかったり、出会いもなかったと思います。

今、「ボランティア・健康増進」事業のメンバーにもなっておりますが、ハイキングに参加される方も皆さん明るく元気で、とても年齢には見えないと毎回感心させられております。ボランティア事業におきましても、毎回早朝にもかかわらず参加していただいて公園等をきれいにしていただき感謝しております。

企業の定年延長等もありシルバーも高齢化が進んでおりますが、いつまでも元気で楽しく、人生まだまだという気持ちでお互い頑張ってまいりましょう。



5 20年のあゆみ

平成18年度（2006年度）～令和7年度（2025年度）主な事業・取り組み

昭和63年（1988年）3月	国分寺町でシルバー人材センターを設立
平成元年（1989年）4月	石橋町でシルバー人材センターを設立
平成2年（1990年）6月	南河内町でシルバー人材センターを設立
平成18年（2006年）1月10日 3町合併により下野市が誕生	



【平成18年度（2006年度）】（会報 ねんりん 第1号～第11号）

4月 1日	旧3町シルバー人材センターが統合、下野市シルバー人材センターが誕生
4月 3日	下野市シルバー人材センター臨時総会（グリムの館） 初代理事長に大垣 隆氏、副理事長に川根敏治氏が就任
5月31日	平成18年度第1回通常総会（南河内公民館）※南河内地区決算 ※国分寺地区清算人会（6月）、石橋地区清算人会（7月）
2月13日	会員日帰り旅行（大江戸温泉物語東京柴又帝釈天の参詣・散策）120名参加
3月22日	壬生町シルバー人材センター先進地視察（家事援助事業について）
3月27日	平成18年度第2回通常総会及び会員互助会設立総会（国分寺公民館）

【平成19年度（2007年度）】（会報 ねんりん 第12号～第24号）

4月 1日	下野市軽度生活援助事業契約開始
5月30日	平成19年度通常総会及び会員互助会定期総会（グリムの館）
10月1～2日	会員互助会宿泊研修旅行（福島県五浦海岸方面）65名参加
10月30日	静岡県大井川町シルバー人材センター視察受入れ
12月11日	会員互助会忘年会（益子温泉）148名参加
12月17日	石橋地区会員互助会奉仕作業（石橋事務所周辺）
1月21日	公共施設管理就業基準要領の制定（会員への公平な就業機会の提供）
2月 7日	日光市シルバー人材センター視察受入れ
3月11日	国分寺地区、南河内地区合同会員互助会奉仕作業（天平の丘公園明日香川周辺）

【平成20年度（2008年度）】（会報 ねんりん 第25号～第36号）

4月 1日	3事務所（旧3町事務所）の統合（石橋事務所、国分寺事務所を閉鎖し、南河内事務所（ふれあい館内）に統合） 石橋連絡所（旧石橋事務所内）及び国分寺連絡所（やすらぎ荘内）を開所 小金井駅、自治医大駅、石橋駅自転車駐輪場の指定管理者運営を開始
5月30日	平成20年度通常総会及び会員互助会定期総会（国分寺公民館） 大垣 隆理事長、川根敏治副理事長共に再任
7月16日	山形県米沢市シルバー人材センター視察受入れ

- 8月12～13日 埼玉県新座市シルバー人材センター先進地視察（事務局体制について）
- 9月 1日 (株)CKP様より作業ズボン（400本）を拝受
- 10月6～7日 会員互助会研修旅行（千葉県南房総方面）85名参加
- 11月 1日～ 会員互助会サークル（7サークル）を立上げ
- 11月 5日 福祉家事援助サービス事業調理実習（寒い冬を乗切る今から役立つ調理実習：南河内公民館）18名参加
- 12月 8日 会員互助会忘年会（塩原温泉）142名参加
- 3月17日 会員互助会全地区合同奉仕作業（天平の丘公園明日香川周辺）130名参加

【平成21年度（2009年度）】（会報 ねんりん 第37号～第48号）

- 5月29日 平成21年度通常総会及び会員互助会定期総会（南河内公民館）
- 7月13日 茨城県ひたちなか市シルバー人材センター先進地視察（独自事業導入について）
- 8月 1日～ 火災警報器設置業務（独自事業）の開始
- 10月5～6日 会員互助会研修旅行（静岡県伊豆・箱根方面）94名参加
- 11月 5日 会員互助会スポーツフェスティバル（グランドゴルフ：南河内球場）71名参加
- 12月14日 会員互助会忘年会（塩原温泉）120名参加
- 3月16日 会員互助会全地区合同奉仕作業（天平の丘公園明日香川周辺）130名参加
- 2月22日 福祉家事援助サービス事業調理実習（寒い冬はもう終わり、春に向かって！：きらら館）19名参加



【平成22年度（2010年度）】（会報 ねんりん 第49号～第60号）

- 5月 1日 ホームページの開設
- 5月21日 平成22年度通常総会及び会員互助会定期総会（グリムの館）
理事長に川根敏治氏、副理事長に大柿正雄氏が就任
- 5月24日 シルバー交通安全の集い（下野市・上三川町）（グリムの館）
- 9月27～28日 会員互助会研修旅行（新潟県寺泊・月岡温泉方面）72名参加
- 11月 1日 下野市シルバー人材センター経営改善計画書策定
- 11月 4日 スポーツフェスティバル（グランドゴルフ：国分寺運動公園）65名参加
- 12月 6日 会員互助会忘年会（鬼怒川温泉）127名参加
- 2月15日 認知症サポーター養成講座（IHを用いた健康料理をつくる！：ゆうゆう館）17名参加
- 2月17日 互助会サークル活動に関するアンケート実施
- 3月 1日～ 出前床屋業務（独自事業）の開始



3月11日 東日本大震災発生

- 3月14日 会員互助会全地区合同奉仕作業（東日本大震災のため中止）
その他、計画していた視察研修、接遇研修等の中止

【平成23年度（2011年度）】（会報 ねんりん 第61号～第72号）

- 5月31日 平成23年度通常総会及び会員互助会定期総会（南河内公民館）
「公益社団法人」への移行手続きについて承認
会員互助会の解散について（5/31 解散）
「東日本大震災」義援金 47,393 円
- 7月7日 佐野市シルバー人材センター視察受入れ
- 10月26日 栃木市シルバー人材センター視察受入れ
- 11月21日 栃木県連合会による植木管理技能講習会（大松山運動公園）30名参加
- 11月29日 福祉家事援助サービス事業調理実習（お手軽簡単・楽ちんおかず！
：道の駅しもつけ）19名参加
- 1月16日 佐野市シルバー人材センター視察受入れ
- 3月8日 健康増進事業（グランドゴルフ：国分寺運動公園）58名参加
- 3月12日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園明日香川周辺）100名参加

【平成24年度（2012年度）】（会報 ねんりん 第73号～第84号）

- 4月1日 「公益社団法人」として新たにスタート
- 6月28日 平成24年度定時総会（国分寺公民館）
川根敏治理事長、大柿正雄副理事長共に再任
- 7月30日 栃木市シルバー人材センター視察受入れ
- 1月23日 福祉家事援助サービス事業調理実習（ほっこり美味しい簡単お鍋：きらら館）
20名参加
- 2月27日 那須塩原市シルバー人材センター先進地視察（公益法人について）
- 3月11日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園明日香川周辺）90名参加
- 3月28日 健康増進事業（天平の丘公園の淡墨桜と史跡めぐり）43名参加
- 3月28日 石橋連絡所・国分寺連絡所の閉鎖（ポストを石橋公民館及び国分寺作業所に設置）

【平成25年度（2013年度）】（会報 ねんりん 第85号～第90号）

- 6月20日 平成25年度定時総会（グリムの館）
- 11月14日 健康増進事業（グランドゴルフ：大松山運動公園）36名参加
- 11月25日 清掃ボランティア事業（薬師川歩道及び烏ヶ森公園清掃）34名参加
- 1月23日 女性会員情報交換会（簡単ヘルシー和スイーツ：道の駅しもつけ）18名参加
- 3月10日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園明日香川周辺）90名参加
- 3月26日 下野ブランド市民サポーター「団体」登録の承認

【平成26年度（2014年度）】（会報 ねんりん 第91号～第96号）

- 6月19日 平成26年度定時総会（国分寺公民館）
理事長に岡山壽夫氏が、副理事長に後藤誠一氏が就任
- 7月14日 佐野市シルバー人材センター役職員視察受入れ
- 7月17日 宇都宮市シルバー人材センター先進地視察（駐輪場接遇研修について）

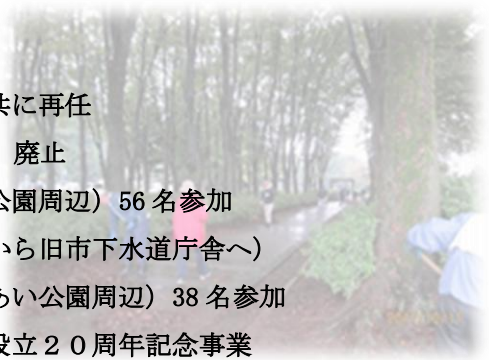
- 9月30日 ねんりんピックタイアップ・クリーンアップ運動清掃ボランティア事業
(大松山運動公園周辺) 73名参加
- 10月5～6日 ねんりんピック囲碁交流大会 (大松山運動公園)
- 2月24日 清掃ボランティア事業 (調整池・烏ヶ森公園・薬師川歩道) 51名参加
- 3月 1日 労働者派遣事業スタート
- 3月12日 清掃ボランティア事業 (天平の丘公園明日香川周辺) 102名参加

【平成27年度 (2015年度)】 (会報 ねんりん 第97号～第102号)

- 6月24日 平成27年度定時総会 (南河内公民館)
- 10月 1日 会報ねんりん 100号
- 10月28日 清掃ボランティア事業 (大松山運動公園周辺) 58名参加
- 11月25日 健康増進事業 (グランドゴルフ : 国分寺運動公園) 35名参加
- 2月24日 清掃ボランティア事業 (調整池・烏ヶ森公園・薬師川歩道) 51名参加
- 3月 9日 清掃ボランティア事業 (天平の丘公園明日香川周辺) 56名参加

【平成28年度 (2016年度)】 (会報 ねんりん 第103号～第108号)

- 4月 1日 介護予防・日常生活支援事業 (お助けサービス) 及び声かけふれあい収集事業
スタート
- 6月23日 平成28年度定時総会 (グリムの館)
岡山壽夫理事長、後藤誠一副理事長共に再任
- 7月31日 作業日報受け入れポスト (きらら館) 廃止
- 9月28日 清掃ボランティア事業 (大松山運動公園周辺) 56名参加
- 10月 3日 センター事務所の移転 (ふれあい館から旧市下水道庁舎へ)
- 10月18日 清掃ボランティア事業 (三王山ふれあい公園周辺) 38名参加
- 10月25日 栃木県シルバー人材センター連合会設立20周年記念事業
センター事務局職員 (島崎係長、小森主査) 県連合永年勤続表彰
- 10月26日 役員研修会 (役員の心得について : センター会議室)
- 11月17日 健康増進事業 (室内軽スポーツ : 石橋体育センター) 24名参加
- 3月 8日 清掃ボランティア事業 (天平の丘公園明日香川周辺) 68名参加

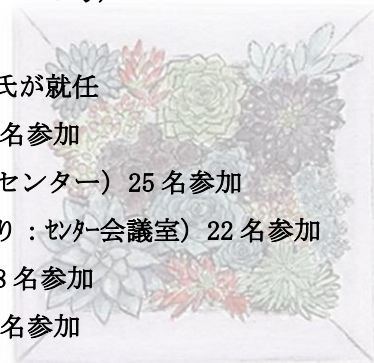


【平成29年度 (2017年度)】 (会報 ねんりん 第109号～第114号)

- 6月21日 平成29年度定時総会 (国分寺公民館)
- 9月27日 清掃ボランティア事業 (三王山ふれあい公園周辺) 39名参加
- 10月17日 清掃ボランティア事業 (大松山運動公園周辺) 43名参加
- 11月16日 健康増進事業 (室内軽スポーツ : 南河内体育センター) 33名参加
- 11月28日 女性会員向講習会 (寄せ植え : センター会議室) 22名参加
- 2月22日 剪定・草刈機の講習会 (センター会議室他) 10名参加
- 3月 7日 清掃ボランティア事業 (天平の丘公園明日香川周辺) 64名参加
- 3月30日 下野市シルバー人材センター中長期計画書策定
- 3月31日 真岡市シルバー人材センター先進地視察 (業務について)

【平成30年度（2018年度）】（会報 ねんりん 第115号～第120号）

- 6月18日 平成30年度定時総会（グリムの館）
理事長に五月女洪氏が、副理事長に石田節男氏が就任
- 10月11日 清掃ボランティア事業（センター敷地内）31名参加
- 11月15日 健康増進事業（室内軽スポーツ：国分寺海洋センター）25名参加
- 11月26日 女性会員向講習会（多肉植物でタブローづくり：センター会議室）22名参加
- 2月13日 剪定・草刈機の講習会（センター会議室他）8名参加
- 3月 8日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園内）32名参加



【平成31年度・令和元年度（2019年度）】（会報 ねんりん 第121号～第126号）

- 6月18日 令和元年度定時総会（南河内公民館）
- 10月 1日 近隣センター（下野・壬生・上三川・野木）情報交換会（センター会議室）
- 10月10日 清掃ボランティア事業（センター敷地内）32名参加
- 11月14日 健康増進事業（室内軽スポーツ：石橋体育センター）23名参加
- 12月19日 女性会員向講習会（正月に向けた花飾り：センター会議室）19名参加

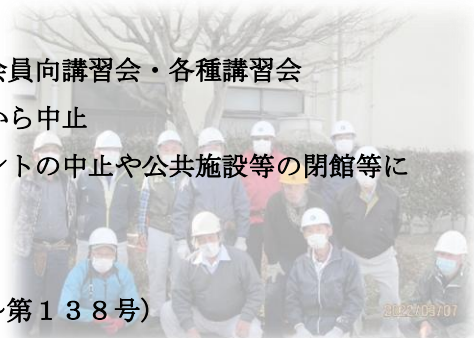
1月15日 コロナウイルス国内で初めての感染が確認

- 1月30日 女性会員向講習会（デコ巻き寿司づくり：道の駅しもつけ）22名参加
- 2月12日 剪定・草刈機の講習会（センター会議室他）8名参加
- 2月25日 近隣センター（下野・壬生・上三川・野木）情報交換会（壬生町 SJC）

【令和2年度（2020年度）】（会報 ねんりん 第127号～第132号）

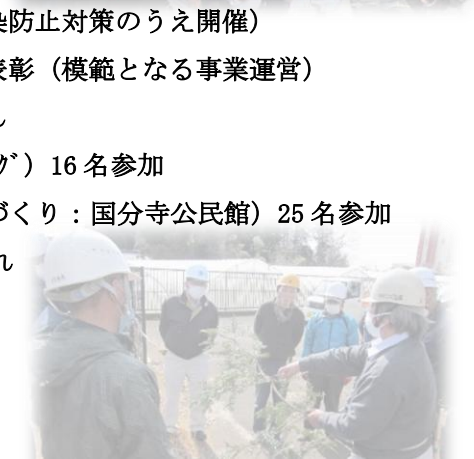
- 6月19日 令和2年度定時総会（国分寺公民館：感染防止対策のうえ開催）
五月女洪理事長、石田節男副理事長共に再任
- 1月20日 栃木県連合会（理事長ほか2名）が来所し、意見交換を行う
- 2月25日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園内）役職員のみで実施

※ボランティア・健康増進事業・女性会員向講習会・各種講習会
コロナウイルス感染防止対策の観点から中止
「天平の花まつり」をはじめ各種イベントの中止や公共施設等の閉館等により請負業務が減少



【令和3年度（2021年度）】（会報 ねんりん 第133号～第138号）

- 6月16日 令和3年度定時総会（グリムの館：感染防止対策のうえ開催）
- 6月24日 全国シルバー人材センター協会長より表彰（模範となる事業運営）
- 11月 4日 小山市シルバー人材センター視察受入れ
- 11月12日 健康増進事業（天平の丘公園周辺ウォーキング）16名参加
- 11月18日 女性会員向講習会（フライパンでパンづくり：国分寺公民館）25名参加
- 12月16日 真岡市シルバー人材センター視察受入れ



- 1月27日 女性会員向講習会（ハンギングバスケットづくり：センター会議室）12名参加
2月24日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園内）25名参加

2月24日 ロシアがウクライナに軍事侵攻

- 3月10日 剪定講習会（センター会議室他）13名参加

【令和4年度（2022年度）】（会報 ねんりん 第139号～第144号）

- 4月 1日 ウクライナ支援の募金箱設置
6月 2日 近隣センター（下野・壬生・上三川・野木）情報交換会（野木町 SJC）
※インボイス制度について
6月17日 令和4年度定時総会開催（南河内公民館）
五月女洪理事長及び石田節男副理事長共に再任
6月28日 インボイス制度検討会議の設置
8月31日 「会員を増やし隊」発足
11月15日 栃木県連合会会員表彰伝達式（6名）
11月24日 ロコモ度測定会（ゆうゆう館）20人参加
11月30日 健康増進事業（みかも山公園1周ウォーキング）16名参加
12月13日 女性会員向講習会（ペーパーアートに挑戦：南河内公民館）15名参加
1月24日 女性会員向講習会（ハーバリウム作成：南河内公民館）15名参加
2月 9日 剪定講習会（センター会議室他）16名参加
2月21日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園内）37名参加

【令和5年度（2023年度）】（会報 ねんりん 第145号～第150号）

- 4月 1日 下野市シルバー人材センター第2次中長期計画書策定

5月 8日 新型コロナウイルス感染症第5類に移行

- 6月16日 令和5年度定時総会（国分寺公民館）
9月29日 栃木県連合会会員表彰伝達式（3名）

10月1日 インボイス制度開始

- 11月14日 健康増進事業（日帰りハイキング：群馬県アプトの道）25名参加
11月27日 ロコモ度測定会（ゆうゆう館）23名参加
11月28日 女性会員向講習会（寄せ植えづくり：センター会議室）15名参加
1月24日 女性会員向講習会（苔テラリウムづくり：センター会議室）15名参加
2月 8日 剪定講習会（センター会議室他）12名参加
2月27日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園内）31名参加

【令和6年度（2024年度）】（会報 ねんりん 第151号～第156号）

- 6月14日 令和6年度定時総会（グリムの館）
五月女洪理事長及び石田節男副理事長共に再任
- 9月26日 栃木県連合会会員表彰伝達式（2名）
- 10月17日 健康増進事業（日帰りハイキング：ひたち海浜公園）24名参加
- 10月23日 女性会員向講習会（ちぎり絵づくり：センター会議室）15名参加

11月1日 「フリーランス法」施行

- 11月 1日 smile to smile 登録開始
- 11月19日 女性会員向講習会（寄せ植えづくり：センター会議室）15名参加
- 11月26日 ロコモ度測定会（きらら館）23名参加
- 11月26日 女性会員限定「茶話会」の実施（センター会議室）5名参加
- 2月20日 剪定講習会（センター会議室他）10名参加
- 2月25日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園内）40名参加

【令和7年度（2025年度）】（会報 ねんりん 第157号～第162号）

4月1日 「公益法人制度改革」

- 6月13日 令和7年度定時総会（南河内公民館）
栃木県連合会より表彰伝達式3名
- 7月23日 栃木県連合会より団体表彰（目標会員数達成率部門及び会員数増加部門）
- 9月12日 鹿沼市シルバー人材センター先進地視察（女性組織等について）
- 9月16日 近隣センター（下野・壬生・上三川・野木）情報交換会（センター会議室）
※新しい契約方法について
- 11月25日 女性会員向講習会（ハンキング・バスケットづくり：センター会議室）10名参加
- 11月27日 健康増進事業（健康ウォーキング：足利市内の史跡と自然巡り）24名参加
- 2月26日 清掃ボランティア事業（天平の丘公園内）35名参加
- 3月24日 女性会員向講習会（花の寄せ植えづくり：センター会議室）10名参加



毎年の定例的な事業として、理事会・各種委員会等のほか以下のような事業を実施してきました。

各事業班

事業班	対象	主な内容
安全・適正就業委員会	担当理事	・安全パトロール ・各種研修会への参加
	会 員	・交通安全講習会、ロコモ度測定会など
健康増進・ボランティア	担当理事	・姿川クリーン作戦へ参加 ・平美林会へ参加
	会 員	・健康増進事業（健康ウォーキング、室内リクリエーション） ・清掃ボランティア事業（天平の丘公園清掃）
入会促進	担当理事	・入会説明会
	会 員	・一会員一声運動

その他

	対象	主な内容
就業開拓・普及啓発活動	理事・監事	・事業所挨拶 ・市内イベント参加（市産業祭、しもつけ福祉フェスタ、市消費者まつり他）※PRチラシ配布、刃物研ぎ、小物販売等 ・ポスティング実施
接遇マナー講習会	施設管理 就業者	・接客講習（駐輪場は業務の一環として実施）
AED 講習会	施設管理 就業者	・消防署にて講習
女性講習会	女性会員	・寄せ植えづくり、料理など年2回実施
剪定講習会	会 員	・隔年実施

※ご担当された役員の皆様、会員の皆様 大変お疲れさまでした！



思い出の活動風景

清掃ボランティア

まちじゅうを
きれいに！



👉 ■天平の丘公園明日香川清掃

👉 ■大松山運動公園清掃

■三王山公園・烏ヶ森公園清掃



健康増進

みんなで生き生き
健康づくり！

室内軽スポーツ👉
(石橋体育センター)



👉 グランドゴルフ
(国分寺運動公園)

健康ハイキング👉
(ひたち海浜公園)



👉 ロコモ度測定会
(ゆうゆう館)

女性向講習会

みんなで楽しく 取り組みました！



👉 寄せ植え講習会（センター）



👉 タブローづくり 完成！（センター）



👉 飾り巻きずし（道の駅しもつけ）



👉 お正月の花飾り（センター）



👉 作品の数々 ペーパーアート バーバリウム 美味しいもの などなど・・・



会員互助会活動も活発でした！



忘年会で交流を深めました！



会員の作業の様子

地域のために貢献しています！



👉 コインランドリーの清掃



👉 ふすま障子張りの様子



👉 文化財発掘作業の様子



👉 農作業の様子 👉



👉 公園の草刈



👉 駅前広場清掃



👉 お客様の送迎業務（クリニック）



👉 レストランの清掃



👉 刃物研ぎの様子



👉 パンの配送・販売業務



👉 ゆうゆう館にて



👉 ふれあい館にて



👉 石橋駅駐輪場の受付



👉 農家のお店での作業風景



👉 庁舎間文書等の配送業務



👉 小山電車区の清掃



👉 公園の剪定の様子



研 修

サービスの向上を図るため
様々な研修を実施！



👉 高齢者自転車講習会（国分寺公民館）



👉 剪定講習会（センター敷地）



👉 AED講習会（石橋消防本部）



👉 接遇マナー講習会（南河内公民館）



先進地視察研修

👉 那須塩原市 SJC へ



👉 佐野市 SJC から

市のイベントはシルバー会員が大活躍！



様々なイベントに出店しました！



👉 産業祭に出店 👉



👉 消費者まつりに出店



👉 しもつけ福祉フェスタにてPR



👉 市民活動センターまつりに出店 刃物研ぎも実施 👉



シルバー人材センター事務所移転



👉 旧事務所（ふれあい館内）



👉 新事務所（旧市下水道事務所）



👉 新事務所看板設置

定時総会(定期総会)・理事会・委員会



👉 定時総会（南河内会場）



👉 （国分寺会場）



👉 （石橋会場）



👉 理事会の様子



👉 安全・適正就業委員会



👉 安全パトロールの様子

7 標語一覧

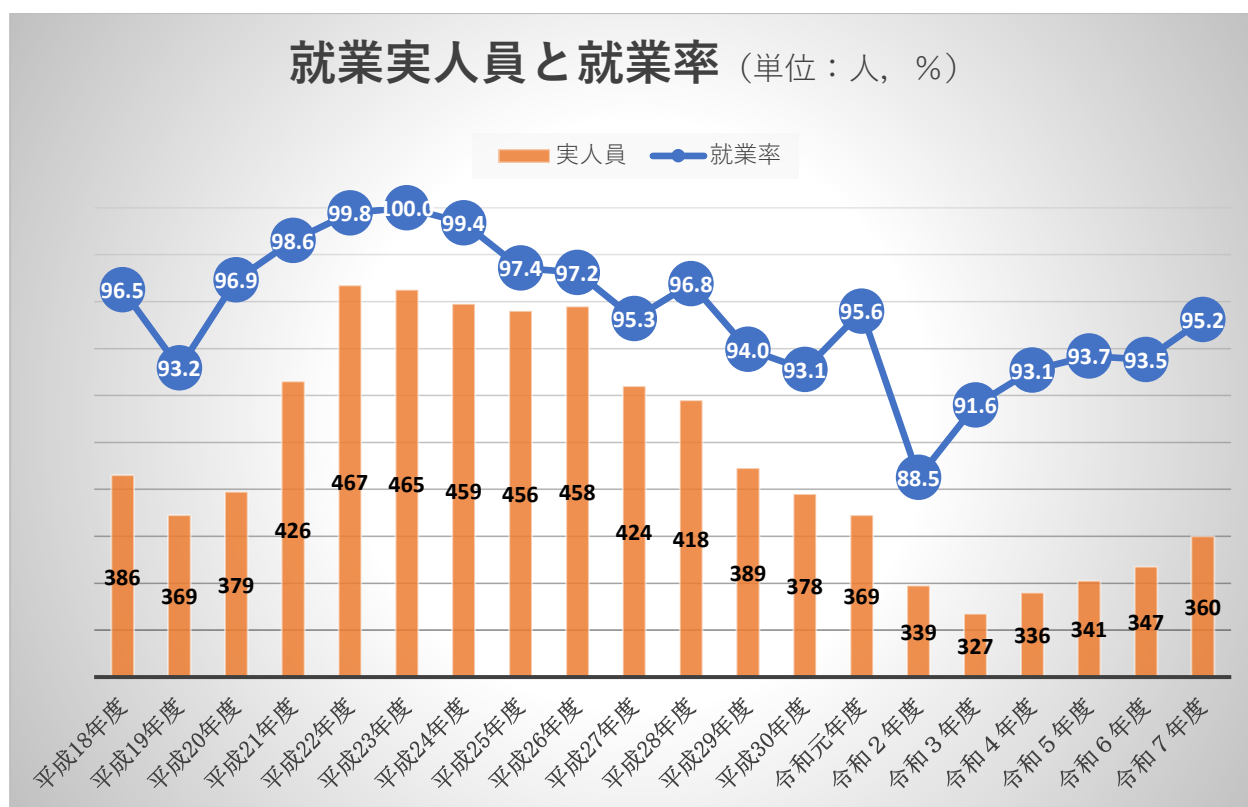
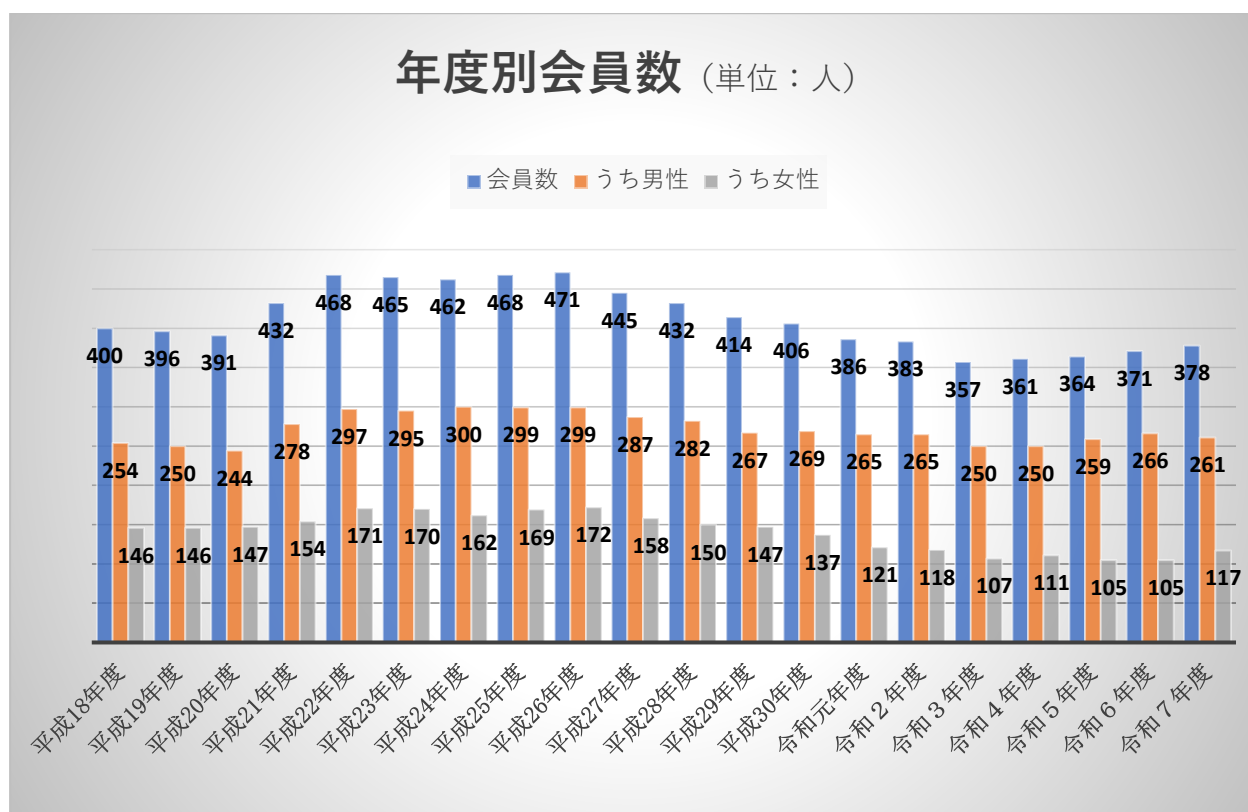
①安全標語（最優秀賞）

敬称略		
年度	作品	作者
平成 18 年度	安全の ルール守って 明るいシルバー	大森 昇
19 年度	決めたこと 守って安全 伸び行くシルバー	篠原 顕樹
20 年度	決めたこと 守ろう活かそう シルバー就業	眞分 進
21 年度	チョット待て 急ぐ作業に 潜む事故	藤沼 寅雄
22 年度	危険予知 常に生かそう 作業前	藤沼 寅雄
23 年度	馴れあいが 思わぬところで 事故招く	藤沼 寅雄
24 年度	省かない！！ 命を守る ヘルメット	関本 直美
25 年度	安全は 人に頼るな 任せるな	三上 佐
26 年度	安全は 日ごろの身仕度 心がけ	篠原 顕樹
27 年度	スキあれば 事故につながる 就業現場	小倉 清
28 年度	事故防止 念には念の 安全作業	石原 秀男
29 年度	慣れ作業 気を抜く陰に ひそむ事故	篠原 顕樹
30 年度	その無理が 予期せぬ事故を 引き起こす	石田 節男
令和元年度	いま一度 見直す余裕が 事故防ぐ	吉田 美作
2 年度	過去の事故 教訓活かして 再発防止	吉田 美作
3 年度	事故防止 心にゆとりと 思いやり	澤田 正廣
4 年度	安全は 日頃の点検 準備から	秋草 憲之
5 年度	慣れるほど 初心に帰れ その手順	杉本 志郎
6 年度	迷った時はすぐ確認 勝手な判断 怪我のもと	石田 能久
7 年度	ちょっとした油断で 大きな後悔 安全点検忘れるな	秋草 憲之

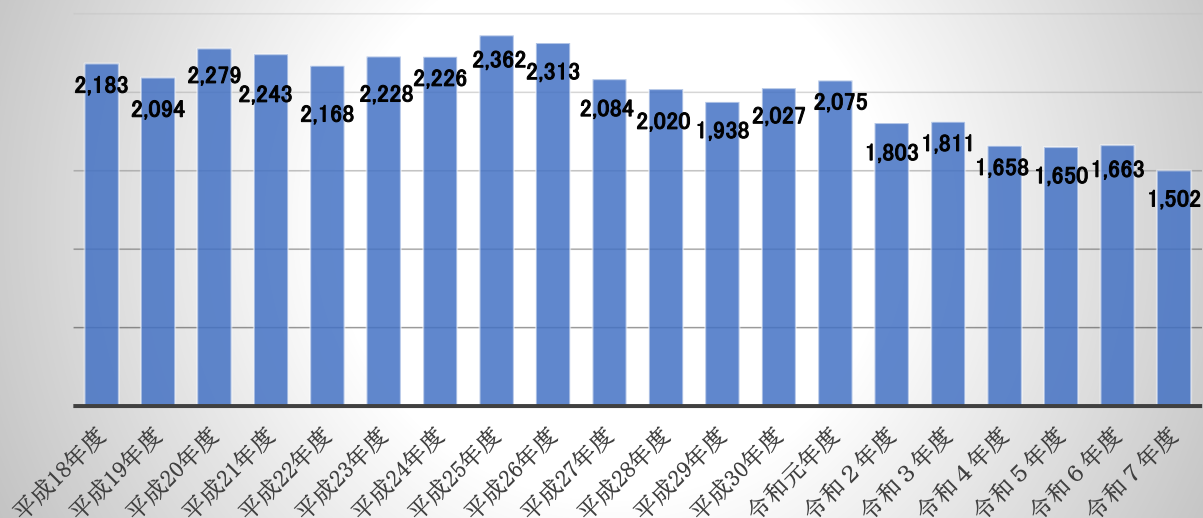
②加入促進標語（最優秀賞）

敬称略		
年度	作品	作者
令和 4 年度	待ってます あなたの特技 シルバー仲間	篠原 顕樹
5 年度		
6 年度	シルバーで 活かそうあなたの 知恵と技術（わざ）	馬場 貞雄
7 年度	まだまだ活かせる まだやれる 間口の広いシルバーで	高山 康嗣

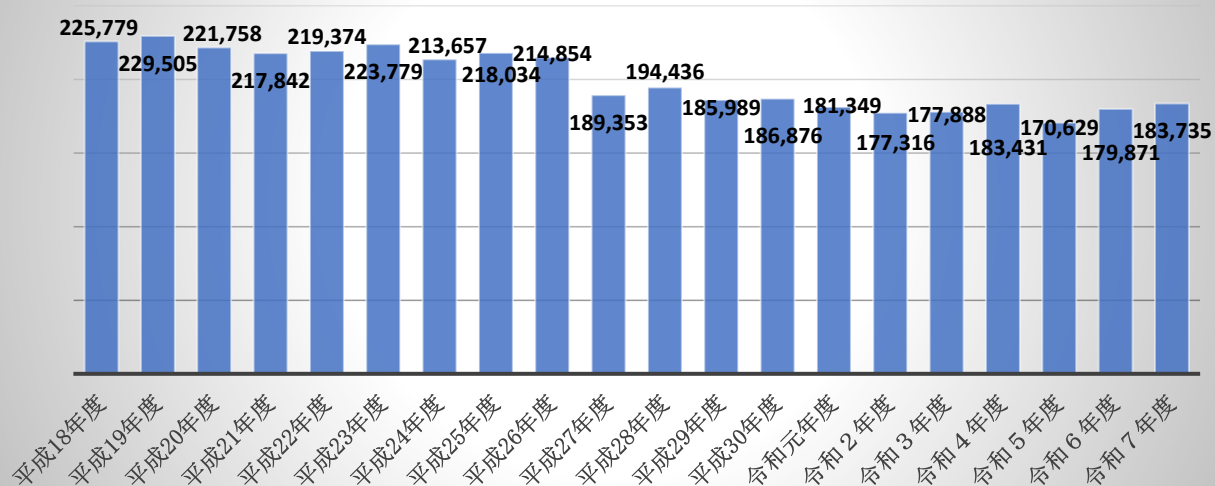
8 グラフで見る変遷



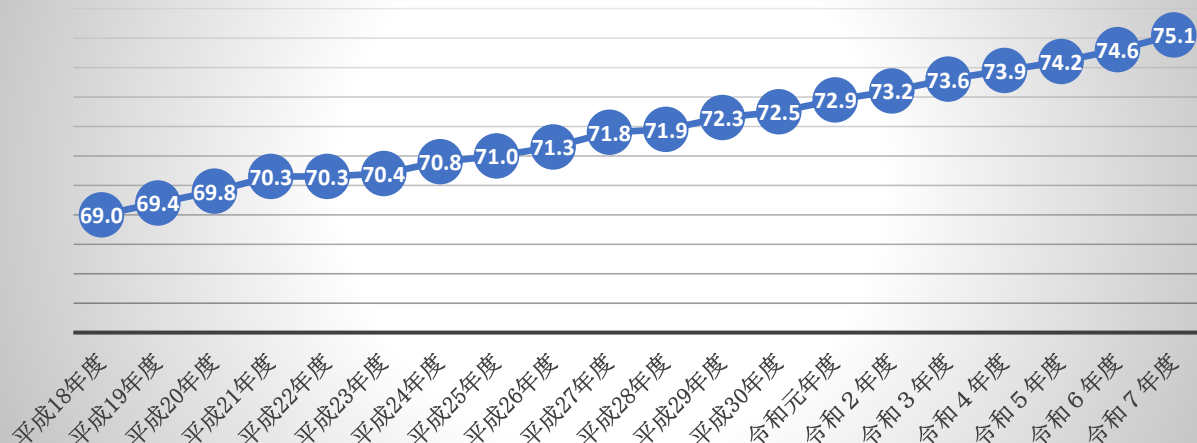
受託件数（単位：件）



契約金額（単位：千円）

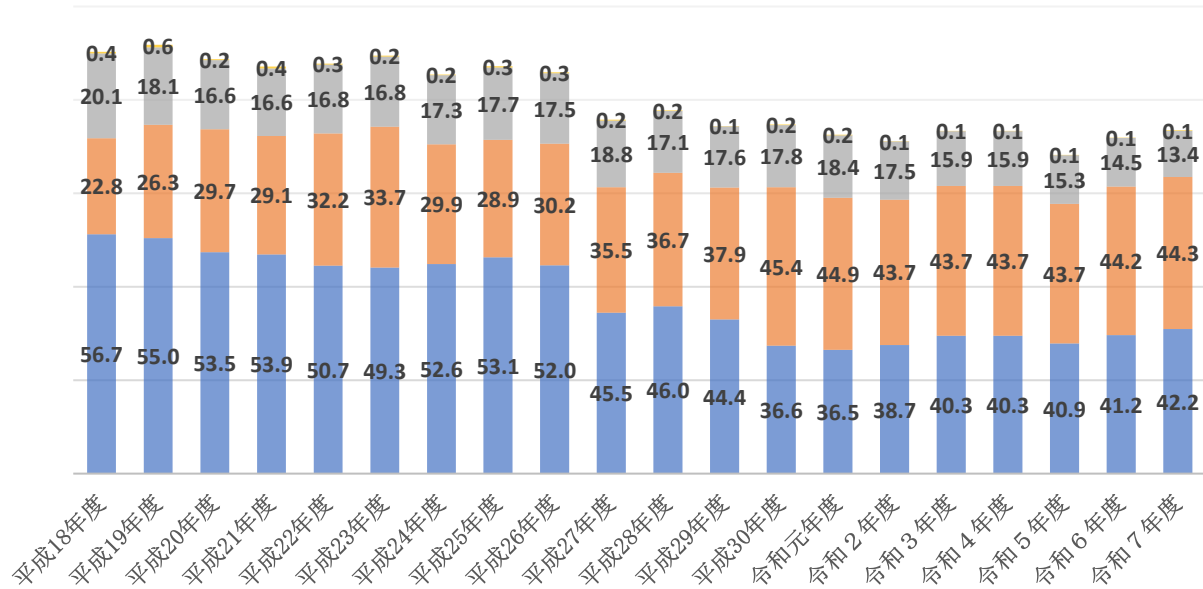


平均年齢（歳）



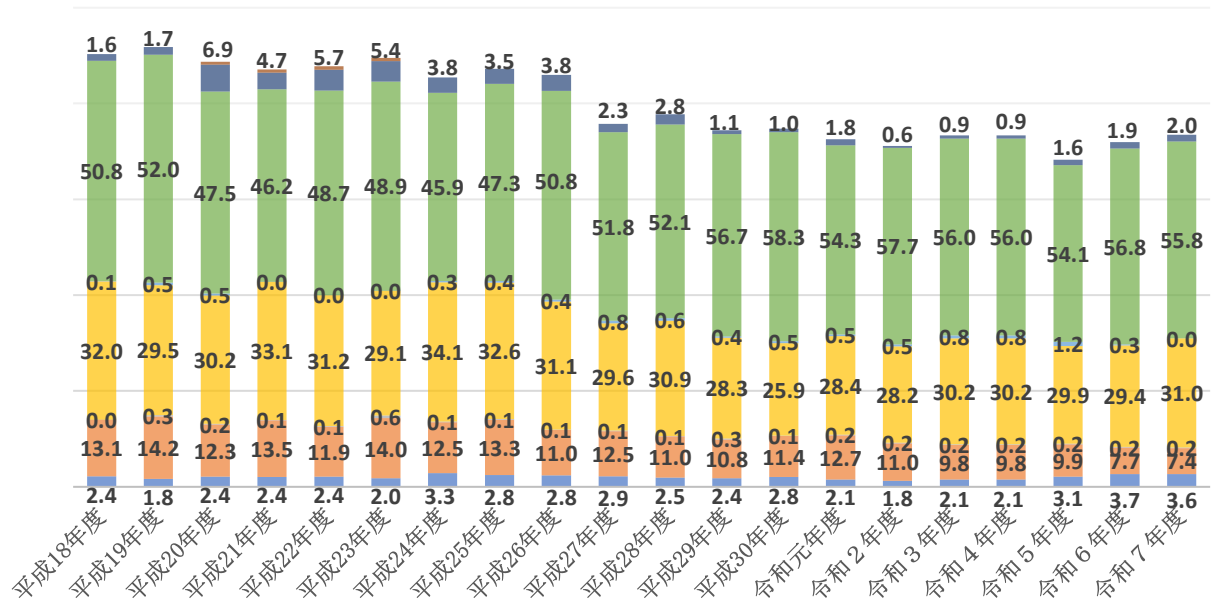
発注者別事業実績割合（単位：％）

■ 公共 ■ 事業所 ■ 一般家庭 ■ 独自事業



職群別事業実績割合（単位：％）

■ 技術群 ■ 技能群 ■ 事務管理群 ■ 管理群 ■ 折衝外交群 ■ 一般作業群 ■ サービス群・その他



9 歴代役職員紹介

① 役員

役職名	平成 18 年度 平成 19 年度	平成 20 年度 平成 21 年度	平成 22 年度 平成 23 年度	平成 24 年度 平成 25 年度	平成 26 年度 平成 27 年度
理事長	大垣 隆	大垣 隆	川根 敏治	川根 敏治	岡山 壽夫
副理事長	川根 敏治	川根 敏治	大柿 正雄	大柿 正雄	後藤 誠一
理 事	辻 正次	後藤 誠一	後藤 誠一	後藤 誠一	角田 重治
〃	海老原 富美雄	藤沼 寅雄	永倉 達三	永倉 達三	吉田 春彦
〃	坂本 シヅエ	永井 千代子	柳田 良子	海老原 京子	海老原 京子
〃	柳澤 雄治	岡山 壽夫	岡山 壽夫	岡山 壽夫	小倉 清
〃	岡山 壽夫	関本 直美	関本 直美	関本 直美	関本 直美
〃	清水 眞男	保坂 登	保坂 登	保坂 登	高野 ナミ子
〃	須藤 敏枝	須藤 敏枝	須藤 敏枝	須藤 敏枝	高橋 孝明
〃	渡辺 竹蔵	森口 隆司	大森 昇	大森 昇	永井 利
〃	森口 隆司	大森 昇	山中一太郎	山中一太郎	古味 芳子
〃	川浦 紀子	大柿 正雄	古味 芳子	古味 芳子	小貫 シゲ子
〃	山中 光治	古味 芳子	園部 ケイ子	園部 ケイ子 川俣 和子	川俣 和子
〃	伊沢 久	伊沢 久	石田 竹男 上野 勝美	上野 勝美 園部 ケイ子	園部 ケイ子 塚原 孝
〃	飯野 優卿 小貫 シゲ子	小貫 シゲ子 石田 竹男			
監 事	島廻 昭喜	海老原 富美男	海老原 富美男	海老原 富美男	海老原 富美男
〃	生井 宗男	廣瀬 勤	廣瀬 勤	廣瀬 勤	廣瀬 勤
〃	青木 照富	渡辺 竹蔵	海老原 博	海老原 博	稲葉 安行



役職名	平成 28 年度 平成 29 年度	平成 30 年度 令和元年度	令和 2 年度 令和 3 年度	令和 4 年度 令和 5 年度	令和 6 年度 令和 7 年度
理事長	岡山 壽夫	五月女 洪	五月女 洪	五月女 洪	五月女 洪
副理事長	後藤 誠一	石田 節男	石田 節男	石田 節男	石田 節男
理 事	角田 重治	角田 重治	塩谷 誠	塩谷 誠	塩谷 誠
〃	吉田 春彦	吉田 春彦	落合 富美江	落合 富美江	落合 富美江
〃	海老原 京子	海老原 京子	上野 榮一	上野 榮一	横島 清
〃	五月女 洪	津野田 久江	津野田 久江	横島 清	松本 洋子
〃	津野田 久江	宮尾 正枝	宮尾 正枝	津野田 久江	松本 文男
〃	石田 節男	古谷 清	古谷 清	篠崎 安史	上野 友子
〃	高野 ナミ子	小貫 シゲ子	篠崎 安史	杉山 百合子	津野田 久江
〃	永井 利	熊谷 健治	熊谷 健治	福本 洋子	杉山 百合子
〃	小貫 シゲ子	福本 洋子	福本 洋子	久米 三枝子	福本 洋子
〃	熊谷 健治	中村 滋	久米 三枝子	増山 住夫	増山 住夫
〃	福本 洋子	瀬下 忠司	増山 住夫	野澤 喜己	黒木 則房
〃	川俣 和子 小川 幸男	谷田貝 一彦	長塚 章	川嶋 恵美子 金田 欣明	大口 貴史
〃	蓬田 敏		谷田貝 一彦 梅山 孝之	梅山 孝之	梅山 孝之 手塚 均
監 事	伊沢 久	伊沢 久	伊沢 久	伊沢 久	羽石 壽夫
〃	羽石 壽夫	羽石 壽夫	羽石 壽夫	羽石 壽夫	蓬田 敏
〃	稲葉 安行	稲葉 安行	稲葉 安行	稲葉 安行	野澤 喜己



② 職員（事務局）

役職名	平成 18 年度 平成 19 年度	平成 20 年度 平成 21 年度	平成 22 年度 平成 23 年度	平成 24 年度 平成 25 年度	平成 26 年度 平成 27 年度
事務局長	飯野 優卿 小貫シゲ子	小貫シゲ子 石田 竹男	石田 竹男 上野 勝美	上野 勝美 園部ケイ子	園部ケイ子 塚原 孝

役職名	平成 28 年度 平成 29 年度	平成 30 年度 令和元年度	令和 2 年度 令和 3 年度	令和 4 年度 令和 5 年度	令和 6 年度 令和 7 年度
事務局長	蓬田 敏	谷田貝一彦	谷田貝一彦 梅山 孝之	梅山 孝之	梅山 孝之 手塚 均

令和 8 年 4 月 1 日現在の職員

役職名	氏 名
次長兼係長（総務兼業務）	島崎 達也
係長（経理兼総務）	大橋 栄美
主事（業務）	赤木 庸一
主事（業務）	大澤 駿一郎
臨時職員	深澤 久美子



10 編集後記

下野市シルバー人材センターは、旧3町（南河内町、石橋町、国分寺町）のセンターが、それぞれの特色を活かした形で統合しました。それから20年間、シルバー人材センターの理念である「自主、自立・共働、共助」を合い言葉に活動し、ここに節目である20周年記念誌『飛翔』が皆様のご協力のもと発行することができました。

記念誌の発行に際しましては、数々のお祝いの言葉やメッセージをいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

また、統合当初から、今日の礎を築いていただきました会員・歴代役職員の皆様には深く感謝を申し上げます。

「20年のあゆみ」を掲載するにあたり、20年を顧みますとコロナや自然災害をはじめ、社会情勢の急激な変化に伴う諸問題など、様々な出来事がありました。当センターにおいても様々な課題が突きつけられてきました。これらを一つずつ丁寧に対応してきたことに対し、大変すばらしいことと感じております。

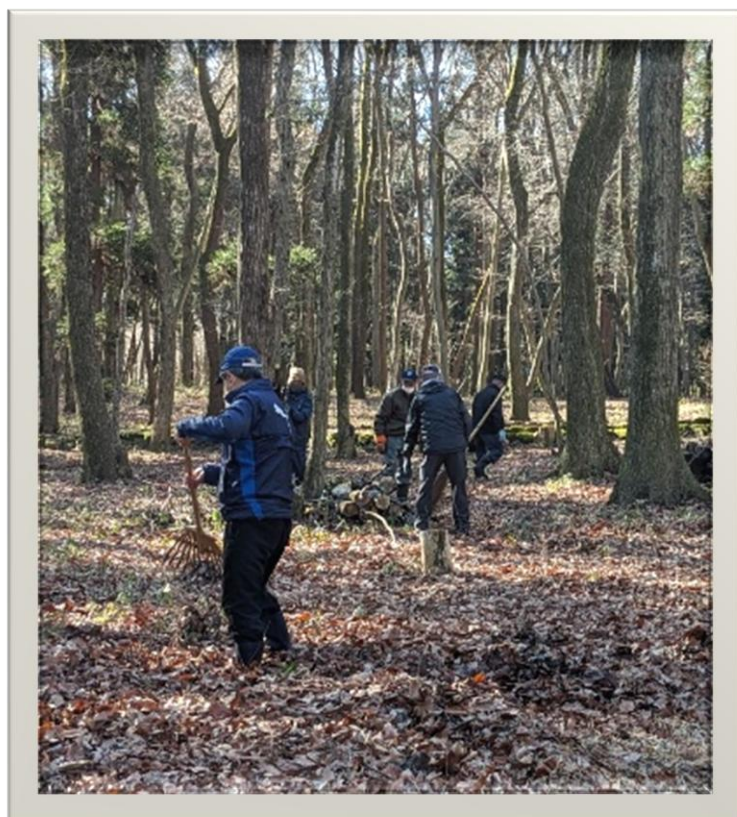
現在は、国の施策等による退職年齢の引き上げの影響もあり、年々会員数が減少傾向にあるとともに、会員の平均年齢の上昇が課題となっていますが、自主努力の拡大を図り、地域貢献と社会参加による生きがいの充実、会員の心身の健康を守りながら今後の課題解決に取り組みたいと念願しております。

最後に、本誌の編集にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げますとともに、この記念誌により、過去を懐かしみ、今を知り、そしてセンターの未来に思いを馳せていただければ幸いです。皆様の益々のご健勝を記念しまして編集後記とさせていただきます。

編集委員一同

下野市シルバー人材センター 統合20周年記念誌『飛翔』

発行日 令和8年6月16日
編集 統合20周年記念誌編集委員会
発行 公益社団法人 下野市シルバー人材センター
下野市薬師寺1949番地
TEL 0285(47)1124 FAX 0285(47)3270
E-mail shimotsuke@sjc.ne.jp
印刷 有限会社 エム・ジーケー



シルバー人材センターのシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、誇りを持って共に働き、共に助け合っていくことを目指して作られたものです。デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛躍する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。